

# 明治 150 年、女性差別は続く

—男性優位の社会通念を変えるには—《戦後編》

## 5 月 23 (日) 13:30~16:00

開場 13:00 講演 2 時間 途中休憩あり

会場：平塚市中央公民館 4 階 小ホール

(平塚市追分 1-20 電話 0463-34-2111)

講師：江刺 昭子氏

え さ し あ き こ



東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗前会長の女性蔑視発言以来、ジェンダー平等を求める動きが加速している。と同時に増えてきたのは、わたしたちの意識に深く食い込んでいる男尊女卑観である。75年前の4月に女性参政権が初めて実現したが、その後何が変わり、何が変わらなかったのか、男女不平等の歴史をひもとく。

参加費：500 円 (資料代含む)

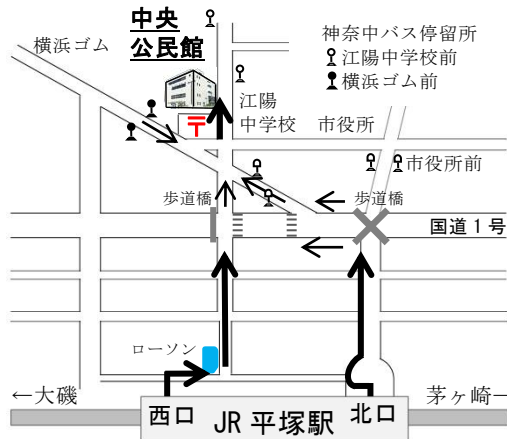
定員：60 人 (要予約) 申込み期限 5 月 20 日

### 江刺昭子氏プロフィール

広島県出身。大学卒業後、女性誌の編集を経て、ノンフィクション作家、ジャーナリストとして独立。

広島で被爆した作家大田洋子の評伝『草履 (くさずえ)』で、1972 年第 12 回田村俊子賞受賞。『女のくせに—草分けの女性新聞記者 (ジャーナリスト) たち』『透谷の妻—石阪美那子の生涯』『樺美智子、安保闘争に斃れた東大生』など著書多数。

神奈川県的女性史編さんや、県内女性史研究グループの指導育成に尽力し、2010 年第 59 回神奈川文化賞受賞。女性史研究の現場から、「47NEWS」(HP) への寄稿など時事評論を発信し続けている。



※平塚駅西口・北口より徒歩 20 分。  
 ※バスの経路や時刻表等詳細は、あらかじめ下記へお問い合わせください。自家用車での来場は、お控えください。  
 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、マスク着用等をお願いいたします。  
 ※発熱など体調不良の場合は、参加をご遠慮ください。

共催：女性史に学ぶ会 平塚市人権・男女共同参画課

お問い合わせ・予約申込み (電話または E-Mail で氏名・連絡先をお伝えください。)

女性史に学ぶ会 担当：星賀 0463-71-6471・090-6655-7862・nonnorike@yellow.plala.or.jp